

まちづくり メールニュース

Vol. 283

(R03.07.09)

北海道開発局都市住宅課
まちづくり相談窓口

まちづくりに関して紹介したい地域の取組、配信アドレスの変更等については、
まちづくり相談窓口 ([メールはこちら](#)) まで **※配信希望も随時受け付けております。**

今号の記事

…各記事のタイトルをクリックすると、記事掲載ページへジャンプします

- [令和3年度 都市景観大賞](#)
- [令和3年度「手づくり郷土賞」募集中!](#)
- [令和3年度 新たな都市空間創造スクール を開講します!](#)

【その他(お知らせ等)】
【イベント・募集案内等】
【イベント・募集案内等】

開発局HPにアンケートフォームを作成しました!是非、皆様の感想をお聞かせください。
[まちづくりメールニュースアンケート](#)

令和3年度 都市景観大賞

～「SAPPOROフラワーカーペット」が優秀賞を受賞～

「都市景観の日」実行委員会(後援:国土交通省)は、全国の優れた景観づくりの事例を選定・顕彰する「令和3年度 都市景観大賞」を選定し、道内からは、景観まちづくり活動・教育部門で「SAPPOROフラワーカーペット」が優秀賞(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)を受賞しました。

都市景観大賞は、より良い景観の形成を目指すため、普及啓発活動の一環として平成3年度から毎年度実施されている表彰制度です。今年度は、全国各地の応募の中から8地区・団体が、大賞や優秀賞などに選定されています。

北海道内からの受賞は、平成27年度の都市空間部門で大賞を受賞した「北彩都あさひかわ」他3団体以来、6年ぶりです。

また、活動エリアである札幌北3条広場(アカプラ)は、平成27年度の都市空間部門で優秀賞を受賞しています。

景観まちづくり活動・教育部門「優秀賞」(「都市景観の日」実行委員会 会長賞)

活動エリア: [札幌駅前通地区\(札幌市中央区\)](#)

応募者: [サッポロフラワーカーペット実行委員会](#)

○活動概要

サッポロフラワーカーペットは、市民参加型のパブリックアートのイベントとして、札幌のメインストリートである札幌駅前通と北海道庁赤れんが庁舎との間に位置する札幌市北3条広場をメイン会場に、2014年から開催してきた。

フラワーカーペット(花びらや自然素材を用いた花絵)は市民ボランティアや近隣のオフィスワーカー等の参加者によって制作される。誰でも参加することができる簡単な作業であり、それがこの活動の目的の一つである「老若男女・国籍を問わない制作作業を通じた多文化共生の推進」に繋がっている。

完成した色とりどりのフラワーカーペットは参加者の手でつくられたものであり、こうした風景が、参加者のこの地区に対する愛着や大切にしたいと思える景観形成に繋がっている。また、北海道庁赤れんが庁舎の景観とも相まって、札幌の初夏ならではの風景を創り出しており、道内外から訪れた人々を楽しませている。

○審査講評

北海道庁赤れんが庁舎前の「札幌市北3条広場」（通称アカプラ）は、2014年8月にオープンした。広場に面する民間施設の協力によって道路と壁面後退部分が一体的になった魅力的な広場空間が生まれ、2015年度の都市景観大賞「都市空間部門」優秀賞を受賞した。

広場オープン時にイベントとして開催されたフラワーカーペットが好評を得たため、翌年実行委員会を設け、地元企業の協力や寄付を得ながらすでに5年実施してきている。実施にあたっては、当日のボランティアはもちろん、制作リーダーの育成、地元の大学へのデザイン依頼など、地域への働きかけも積極的に進めている。また、開催場所も民間の公開空地や屋上広場等すでに4箇所に広がりつつある。魅力的な都市広場において市民参加型で活用する事業を企画運営し、札幌を代表するイベントとして展開させてきたことは、高く評価することができる。今後もアイデアあふれる広場の活用を期待したい。

（卯月審査委員）



フラワーカーペット完成後に撮影した、制作ボランティアの集合写真



フラワーカーペットのまわりにキャンドルライトを灯して演出している様子



下絵に沿って花びらをならべる作業の様子



フラワーカーペット内に入って直に花びらに触れることができるフリーウォーキングの様子

※令和3年度の他の受賞団体・地区等や、過去の受賞団体・地区等については、[公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンターのHP](#)をご参照ください。

令和3年度「手づくり郷土賞」募集中！

ふるさと

－国土交通大臣表彰・36回目－

国土交通省では、今年度で36回目の開催となる「手づくり郷土（ふるさと）賞」の募集を行っています。

この賞は、地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を国土交通大臣が表彰する制度です。

自薦、他薦を問わず地域づくりに取り組む活動団体、地方公共団体のみなさまのご応募及び情報提供をお待ちしています。

○募集期間：令和3年6月4日（金）～令和3年8月31日（火）

○表彰内容

「手づくり郷土賞（一般部門）」

地域の魅力や個性を生み出している、社会資本及びそれと関わりがある優れた地域活動を一体的に表彰

「手づくり郷土賞（大賞部門）」

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、一層の発展があったものを表彰
 なお、選定された成果については、応募団体に認定証を授与するとともに、好事例としてホームページなどを通じて広く全国的に紹介する予定です。

○応募団体

地域の社会資本*を有効活用し、地域づくり等に取り組む活動団体が単体で、又は社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）との共同で応募してください。

*原則として国土交通省が所管する社会資本で、地方公共団体等が整備・管理するものも含まれます。

○応募方法

募集期間内に、応募資料（応募用紙、参考資料）を提出してください。なお、詳しい応募方法・提出先については、[北海道開発局HP（募集要項）](#)をご覧ください。

○過去の受賞内容

[北海道開発局HP（北海道内の受賞一覧）](#)をご覧ください。

○お問い合わせ先

北海道開発局開発監理部開発調整課 担当：風間
 TEL011-709-2311（内線5470）

【昨年度の受賞案件（北海道内）】

○一般部門（1件）



大河石狩川に並ぶ、日本一の直線国道
 ～日本一の直線が紡ぐ地域の繋がりと次世代への思い～
 （特定非営利活動法人 日本一直線道まちづくり研究会）

令和3年度 新たな都市空間創造スクールを開講します！ ～官民連携まちづくりについて学んでみませんか？～

多様な人材の交流を促す居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成など、都市の魅力の向上を図るためには、官民が連携してまちづくりを進めることが重要です。そのためには、活動の主体となる民間による活動を下支えする行政の存在が欠かせません。そこで、国土交通省では、公共空間利活用などにおける官民連携まちづくりの考え方・手法に関する基礎的な知識から実践事例を学ぶスクールを開講します。

募集要領

1. 対象者：市区町村、都道府県、国等の行政機関の職員
部局長等のクラスの職員を含む3～6名のグループでの参加が条件となります。
2. 定員：50グループ程度
定員を超える場合、参加申込書により選考を行います。
3. 参加費：無料
ただし、集合研修に参加の場合や、最終課題発表会の会場参加に係る交通費・宿泊費等は自己負担となります。
4. カリキュラム：「公共空間を活かしたまちづくり」など官民連携による取組を進める民間有識者及び地方自治体職員等によるeラーニング形式の講義及び集合研修等（詳細は[募集要領](#)を参照してください。）
5. 申込方法：[官民連携まちづくりポータルサイト](#)より参加申込書の様式をダウンロードの上、「新たな都市空間創造スクール事務局」まで電子メールでお申し込みください。
・提出先：新たな都市空間創造スクール事務局 info@toshisozo.jp
5. 募集期間：受付中（令和3年7月15日（木）正午必着）



集合研修の様子（シンポジウム）



配信 Web サイトのトップページ

※申し込みにあたっての詳細は[国土交通省HP](#)または[官民連携まちづくりポータルサイト](#)をご参照ください。